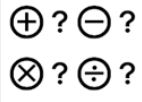


プラスワンチャレンジ解答と解説 5年 小数のわり算

下の文章問題の中で、式をたてると $2.8 \div 3.5$ になるものを選んで、



() に○を書きましょう。また、選んだ理由を下の□にかきましょう

① () 2.8 dL のペンキがあります。1 dL で 3.5 m のかべをぬっていきます。2.8 dL のペンキでは、何 m のかべをぬることができますか。

② (○) 油が 3.5 L あります。重さをはかると 2.8 kg でした。



この油 1 L の重さは何 kg でしょうか。 (50 点)

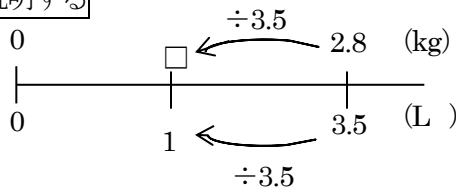
③ () 1 m あたり 3.5 g のはり金があります。2.8 m では、何 g になりますか。

選んだ理由 (50 点)

例 1) 単位量あたりの考え方を使って説明する

1 L あたりの重さ \times 油の量 = 全体の重さになるので、全体の重さ \div 油の量を計算すれば 1 L あたりの重さが求められる。だから、式は $2.8 \div 3.5$ になる。

例 2) 線分図を使って説明する



したがって式は $2.8 \div 3.5$ になる。

例 3) 簡単な数字にして考える

もし、油が 2 L で 8 kg だとしたら、1 L は 2 L の半分だから、 $8 \div 2$ で 1 L あたりの重さがわかる。②の問題は、油が 3.5 L で 2.8 kg なので、1 L あたりの重さを求める式は、 $2.8 \div 3.5$ になる。

解説

例 1 は、「1 L あたり」という 1 学期に学習した単位量あたりの大きさの考え方を使って説明しています。例 2 は、線分図を使って考えるやり方です。また、例 3 のように、何算かわからない時に、簡単な数字に置き換えて考えるとわかることもありますね。今回は、言葉と線分図の 2 通りで説明できた人、②がわり算というだけでなく、①と③はかけ算だということまで説明できた人がプラス点です。残念ながら②が正解だとわからなかった人は、文章問題を読んだら線分図を使って考えるようにしてみましょ。今回の数学者はイタリアのレオナルドフィボナッチという人です。この時代の数学者で一番才能があるとされていたそうです。スゴイですね。今の時代で一番才能があるのは・・・もちろん「あなた」ですよ!! 自分を信じて頑張りましょ。

